

議会の窓

議会広報編集委員会

委員長 宇野 等
副委員長 ひろせ 一彦
委員 宇佐美 みやこ
委員 久保田 かずしげ

大野町議会 第3回定例会

本定例会は、9月2日から10日までの9日間の会期で開催し、人事案件、条例改正、予算案件、決算等の22議案を審議し、同意、可決及び認定しました。
また、9日には6名の議員が一般質問をしました。

同意

人事案件（敬称略）

諮第2号……………

人権擁護委員の候補者の推薦について
今西 和之（公郷） ※任期は3年

議第46号……………

大野町教育委員会委員の任命同意について
青木 宏達（古川） ※任期は4年

可決

契約関係

議第47号……………

大野町公立認定こども園県産材保育家具購入契約の締結について
取得する財産 町公立認定こども園備品
取得の目的 保育環境整備
取得の金額 2,035万円
契約の方法 指名競争入札
契約の相手方 株式会社インフォファーム

条例関係

議第48号……………

大野町企業立地促進条例の一部を改正する条例について
※奨励金制度の適正化により持続的かつ安定した財政運営を図るための条例改正

議第49号……………

大野町議会議員及び大野町長の選挙における選挙運動の公営に関する条例の一部を改正する条例について
※公職選挙法施行令の一部改正に準じ、選挙運動用ビラ及びポスターの作成に係る公営負担の限度額の改定のための条例改正

議第50号……………

大野町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例について

※人事院による公務員人事管理に関する報告に基づく国の規則改正に準じ、仕事と育児の両立支援制度に関する情報提供等の措置について整備するための条例改正

議第51号……………

大野町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について
※地方公務員の育児休業等に関する法律の改正に伴い、育児のために勤務しないことを認める部分休業制度の拡充に係る所要の規定の整備を行うための条例改正

議第52号……………

大野町収入印紙等購買基金条例の一部を改正する条例について
※使用料及び手数料の徴収について、証紙による収入の方法を岐阜県が廃止することに伴う条例改正

議第53号……………

大野町認定こども園の設置及び管理に関する条例について
※大野町公立認定こども園統廃合事業により、西こども園を廃止し、新園を設置する改正を行うための条例の全部改正

議第54号……………

大野町産地形成促進施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について
※大野町産地形成促進施設の使用目的を変更するための条例改正

議第55号……………

企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例について
※地方公務員の育児休業等に関する法律の改正に伴う大野町職員の育児休業等に関する条例の一部改正に準じるための条例改正

議第56号……………

大野町上水道事業給水条例の一部を改正する条例

について

※地方自治法第245条の4第1項に基づく国の技術的助言を受け、給水装置の工事施行に際し、災害その他非常の場合における水の供給の早期復旧と給水装置工事の適切な実施を図るための条例改正

予算関係

議第58号.....

令和7年度大野町一般会計補正予算(第3号)

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1億9千614万7千円を追加し、予算総額は、98億6千876万1千円となりました。

※補正予算の主な内容

歳入 地方交付税、繰入金、諸収入等

歳出 公共施設整備基金積立金、県道改良工事負担金等

議第59号.....

令和7年度大野町国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ2千232万1千円を追加し、予算総額は、26億2千432万1千円となりました。

※補正予算の主な内容

歳入 国庫支出金、繰越金等

歳出 返還金、一般会計繰出金等

議第60号.....

令和7年度大野町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1千319万円を追加し、予算総額は、4億663万円となりました。

※補正予算の主な内容

歳入 国庫支出金、繰越金等

歳出 後期高齢者医療広域連合納付金等

議第61号.....

令和7年度大野町大野神戸インターチェンジ周辺まちづくり整備事業特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1千432万5千円を追加し、予算総額は、1億3千332万5千円となりました。

※補正予算の主な内容

歳入 繰越金等

歳出 用地造成工事費等

議第62号.....

令和7年度大野町上水道事業会計補正予算(第1号)

収益的支出は、102万8千円減額し、総額は2億8千787万2千円となりました。

資本的支出では452万7千円減額し、総額は1億9千147万3千円となりました。

※補正予算の主な内容

職員の異動に伴う人件費等

認 定

決 算

議第57号.....

令和6年度大野町上水道事業会計利益の処分及び決算の認定について

認第1号.....

令和6年度大野町一般会計歳入歳出決算の認定について

認第2号.....

令和6年度大野町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について

認第3号.....

令和6年度大野町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について

認第4号.....

令和6年度大野町大野神戸インターチェンジ周辺まちづくり整備事業特別会計歳入歳出決算の認定について

報 告 等

諸般の報告

令和6年度大野町教育委員会点検評価について

※地方教育行政の組織及び運営に関する法律の規定に基づき、令和6年度の大野町教育委員会点検及び評価の結果について報告がありました。

報第1号.....

令和6年度大野町健全化判断比率の報告について

※地方公共団体の財政の健全化に関する法律の規定に基づき、令和6年度決算における「実質赤字比率」「連結実質赤字比率」「実質公債費比率」「将来負担比率」は、良好な状態との報告がありました。

報第2号.....

令和6年度大野町の公営企業における資金不足比率の報告について

※地方公共団体の財政の健全化に関する法律の規定に基づき、令和6年度決算における公営企業会計における資金不足比率は、「特に指摘すべき是正改善事項はない」との報告がありました。

議員派遣

大野町議会会議規則第120条第1項の規定により、次のとおり議員を派遣しました。

1 揖斐郡町村会・町村議会議長会合同県外視察研修

- ①目的 研修出席のため
- ②派遣先 長崎県長崎市
- ③期間 令和7年7月1日・2日

- ④派遣議員 野村議長
他17件

2 公立認定こども園視察

- ①目的 視察出席のため
- ②派遣先 大野町大字本庄
- ③期間 令和7年9月10日
- ④派遣議員 全議員
他4件

一般質問

お知らせ
議員の質問については、本人の意思を尊重し、掲載しています。



永井 啓介 議員

質問

大野町立小中学校適正規模・適正配置について（一問一答）

- ①町の将来に大きな影響を与える学校再編については、議会に対する丁寧な説明と議論の場を設ける事が重要であり
- ②今後、基本計画策定の過程において第三者を交えた仕組みを設けるのか、検討の中に議会をどのように関与させるのか
- ③今後の全体スケジュールは
- ④どの程度の規模を想定しているのか、関連計画との整合性について伺います。

答弁① (町長)

令和7年3月に大野町小中学校のあり方外部検討委員会より、「望ましい学校教育を将来にわたって実現するためには、小学校1校、中学校1校に学校再編することが最適である。」との答申があり、令和7年5月町議会臨時会の全員協議会で議会へ報告を行い、基本方針（案）を作成した際にはタウンミーティングにて説明を行うこととお話しました。

その後、6月開催の大野町小中学校のあり方内部検討委員会にて協議の結果、町としては、基本方針（案）として「小学校1校、中学校1校に統合し、校舎を新設して再編を行う」方針を立て、具体的な方策の1つに、小中一貫校の導入、その形としては義務教育学校を目指していくことをタウンミーティングにて説明しました。

答弁② (副町長)

有識者で構成した大野町小中学校のあり方外部検討委員会においては、常に町民の意見を伺いながら進めており、委員会の審議においても、常に包み隠さずオープンな議論が行われました。

今年度から策定する学校規模適正化基本計画は、学校規模適正化基本方針に沿い具体的に協議していくこととなりますが、誰もが分け隔てなく、義務教育学校の開校に向けて意見を言うことができる雰囲気づくりが最も大切だと考えています。引き続き議会へ報告し、また議会と協議する等、関与できる仕組みについては、どのような形がよいのか検討してまいります。

答弁③ (教育長)

基本方針を策定後、学校規模適正化基本計画の策定を行います。この基本計画では、学校のコンセプトや施設の規模や機能、概算事業費、候補地、通学方法等を検討します。大野町小中学校のあり方外部検討委員会委員の委嘱と、基本計画の基礎資料とするアンケートの実施を考えています。

外部検討委員会からの答申を受け基本計画（案）をまとめ、町民の理解のもと進める基本計画であるため、令和8年度へずれ込むことも考えており、策定期間については柔軟に対応してまいります。

答弁④ (総務部長)

概算事業費については、基本計画の中で検討し、財政計画等への反映については、概算事業費が固まった段階で、財政部局で算出している「中長期財政計画」への反映、管財部局で進めている「公共施設等総合管理計画」との整合を図るなど、他部局との情報共有を図ってまいります。

答弁 (町長)

概算事業費は、議員ご指摘のとおり、概ね60億円から70億円とみていますが、昨今の人件費や物価・資材の高騰等から、事業費の上振れが予測されます。また財源は、国や県の補助金及び起債を活用し、可能な限り町の一般財源の持ち出しを抑制するよう考えております。

これから数年間の企業誘致に係る優遇策に伴う奨励金の交付と地方交付税の減少は、あくまで概算ですので、正確性を期して今後の計画を進めていく方針です。目標とする「小学校 1 校、中学校 1 校に統合し、令和13年度に校舎を新設して再編を行う」方針案に目標とスケジュール感を持つて対応し、やむを得ない場合は後ろへ、ずらすことも含めて検討していきます。

今後、具体的に概算事業費が算定され、町の財政とのバランスを考えると、既存の校舎を活用する方法も検討すべきだと思いますので、提案を受け止め検討の 1 つに加えていきたいと思っています。教育は未来への投資であり、前向きに取り組んでまいります。



宇佐美 みやこ 議員

質問

第7次総合計画を推進し、選ばれる大野町の未来像について (一問一答)

- ①にぎわい創出の方向性について
- ②大野町の特産品である、柿・バラ苗生産について
- ③公共交通の充実と利便性向上について
- ④安全・安心な暮らしについて
 - (1) 水道料金改定について
 - (2) 子育て世代サポートについて
- ⑤地域づくりについて

以上の項目に対しこれからの大野町の未来像をお尋ねいたします。

答弁 (町長)

①岐阜県内における東海環状自動車道全線開通により、広域的なアクセスが一層向上し西回りルート交通量が増える中、道の駅「パレットピアおおの」は揖斐郡の玄関口として地域の活性化を図る上で重要な役割を担っております。

賑わいの場を創出するため、高規格道路の利便性を背景に沿線市町と連携をとりながら、来訪者と地元の方が多様な形で関わることのできる交流の場を作ることで、本町における関係人口の拡大や、賑わいの場の創出を図ってまいります。

②本町における柿・バラ生産については、生産者の高齢化、後継者不足が課題であり、生産を維持していくためには、担い手を適切に養成し、引き継いでいく必要があります。

そのため、新たな担い手の確保策として関係機関と連携を図りながら、研修制度の充実やSNSを活用した情報発信をすることで、大野町の将来の農業を担う若い担い手の確保に取り組んでまいります。

③本町の公共交通については、路線バス、デマンドタクシー、あいのりくんプラスにおいて、それぞれ利便性向上に取り組んでいるところです。

今後、路線バスについては、鉄道の主要駅までの移動・通学手段として、引き続きバス事業者や沿線市町と連携しながら、路線の維持に重点をおき運行の充実を図ってまいります。デマンドタクシーについては、町民ニーズを的確に把握し、財政負担の状況も勘案しながら取り組んでまいります。

④(1) 安全で安定した水の供給には、施設の更新や整備、自然災害への備えや漏水等を未然に予防することが重要です。施設の健全化及び経営基盤の強化のため、水道料金の見直しを含めた料金の適正化を図り、今後も水の安定供給に努めてまいります。

(2) 経済的な支援だけでなく、つながり続けることを目的とした伴走型支援を推進するため、今年度、子育て支援課内に「大野町こども家庭センター」を設置し、母子保健と児童福祉の両機能が一体となり、相談・支援を行っています。また、小中学校においては、英語教育の充実、特別教育支援員等による学校経営への参画等、町独自の支援策を行っています。

引き続き「子育てをするなら大野町」と、選ばれる町を目指し、地域社会全体でこどもの成長や子育て家庭を応援する環境整備に取り組んでまいります。

⑤東海環状自動車道県内全線開通を契機とした観光振興や地域経済の活性化、小・中学校のあり方検討による教育の新たなステージに向けて、町民の意見を伺いながら丁寧に進めていきたいと考えております。

災害に強いまちづくり等、取り組むべき課題はありますが、町民、事業者、行政が町の将来の姿を共有するとともに、互いがまちづくりにおける役割を担い、相互に協力・連携し、第七次総合計画に示す基本施策、主要事業を着実に推進することで、将来像「快適で 笑顔あふれるやすらぎのまち おおの」の実現に向けたまちづくりに取り組んでまいります。



国枝 利樹 議員

質問

職員等の勤務中の服装について（一括質問一括答弁）

以前はクール・ビズ及びウォーム・ビズの活用が言われていましたが、2020年環境省はクールビズの実施期間を廃止し、各自が気温に応じた服装を呼びかけました。昨今の温暖化や、異常気象など適宜必要に応じた服装が理想と思われます。当町の職員等の勤務中及び式典等の服装の考え方についてお尋ねします。

答弁
(総務部長)

本町では、例年 5 月中旬から 9 月末をクールビズの実施期間とし、9 月時点の気温等に応じて10月末まで実施期間の延長を行う等、柔軟に対応しておりますが、年間を通した対応はしていないのが現状です。個別の期間を設けず、室温や個人の体感温度に合わせて、ノーネクタイ、暑さをしのぎやすい服装、体感温度を上げる重ね着等、それぞれが働きやすい服装で執務を行う取組みを導入する自治体もあります。

今後は、先進事例を参考に、本年11月から「ナチュラル・ビズ・スタイル（クールビズ、ウォームビズの通年実施）」を導入し、年間を通じて冷暖房に頼りすぎず、適切な温度での空調使用と各自の判断による快適で働きやすい服装を通じて、多様で柔軟な働き方による業務効率の向上並びに労働環境の改善を目指してまいります。



宇野 等 議員

質問1

ふれあいセンター各地区の現状と課題について（一問一答）

- ①センター内に設置した各部会の運営状況等について
- ②センター内に福祉部会・防災部会を設置されて、その推進の方法について

答弁①
(教育長)

地区公民館のふれあいセンター移行を契機に、福祉部会及び防災部会が新たに設置され、地域の課題に対する意見交換や協議も行われ始めています。一方で、運営の中心的な担い手の高齢化や新しい活動が活発になる事による負担の増加に伴い、担い手が減少し、継続的な活動が困難になるとの声もあり、次世代を担う若い世代や地元企業を始めとする多様な層の参画、地域での人づくり、仲間づくりが喫緊の課題と考えています。

今後、各ふれあいセンターに対して、地域リーダー育成のための講座、ワークショップの企画や世代間の交流機会等、次世代の人材育成と仲間づくりを推進するとともに、各部会が中心となって地域の課題に応じた活動が展開できるよう、担当部局と連携して、実効性を高める支援をしていきたいと考えています。

答弁②
(危機管理監)

各地区の特徴を活かした取組みの中で、町としても、避難所運営を始め、行政主導の防災活動には限界があると考えており、防災部会を中心に地域の防災に取り組んでいくことになるため、防災担当が防災部会の会議へ出向き、能登半島地震派遣の経験や今後の対策等を説明しています。

答弁②
(民生部長)

地域福祉については、住民が主体となって地域全体で福祉を支える体制が重要であると考えており、地域によって様々な取組みをされています。少しずつではありますが、各地区のふれあいセンターの福祉部会で創意工夫し、こどもから高齢者まで地域住民の交流を促進する活動が実施されています。

答弁
(町長)

地域福祉の推進には、地域住民が安心して暮らせる環境を築くための橋渡し役として社会福祉協議会が重要な役割を担っております。社会福祉協議会が機動力と専門性を最大限に生かせる体制づくりについて、町としてできる人的及び財政的支援を通して、社会福祉協議会と一緒に地域共生社会の実現に向けて、強固な体制の整備を検討してまいりたいと思います。

質問2

大野町の農業振興について（一問一答）

- ①岐阜柿研修センター（仮称）の進捗状況について
- ②岐阜柿の「世界農業遺産」の申請について
- ③遊休農地の雑草対策について

**答弁
(建設部長)**

①(仮称)大野町柿研修センター設立打合せ会議として、大野町かき振興会、J A いび川、揖斐農林事務所、町農林課の4団体が集まり、柿振興における現状の課題把握や他地域の先進事例など、情報共有及び意見交換を実施しました。

柿農家の高齢化と後継者不足から脱却する新たな担い手の確保・耕作放棄地の再利用などを目的に、柿作業受委託制度を基にした新たなシステム構築に向けて、引き続き関係団体と協力しながら検討を進めてまいります。

②世界農業遺産は、世界的に重要な伝統農業を営む地域を国際連合食糧農業機関が認定する制度であり、認定により、農業システムの維持と継承が図られ、農産物のブランド化や観光客の誘致など地域振興につなげる効果が期待できると考えております。

「岐阜の柿」としての申請には町単独では実施できないため、県内関係市町や県と連携・協議していく必要がある等、様々な課題もありますが、まずは柿振興のためのシステムを再構築する必要がありますので、「(仮称)大野町柿研修センター」の構築に向けて関係団体と協力して、検討を進めてまいります。

**答弁
(町長)**

①新たな「柿研修センター」の設立については、営農者の高齢化、後継者不足の現状により、必要であると考えております。また、国内やインバウンド向け、また海外へ販路拡大をすることは、産地振興を図るためにも重要であると考えています。

将来的には、県内の関係市町と柿に関する知識や技術を共有し、担い手対策や生産体制などの施策と一緒に考え、「柿サミット」のようなイベントを開催する等、共に柿産業の振興に取り組んでいきたいと考えております。

**答弁
(建設部長)**

③農業委員会事務局にて、定期的に農地パトロールをしており、適正に管理されていない農地を確認した後は、所有者に「農地の適正管理」の指導として文書を送付しております。

一度では改善に至らないことも多く、再送付やシルバー人材センターを紹介する等、所有者に改善を促す事務を継続しております。



ひろせ 一彦 議員

質問**登下校時の熱中症対策、及びゼロカーボンシティについて
(一問一答)**

①既に県内の学校でも実施されているネッククーラー等の配布、及びそうしたグッズを学校で冷やす冷凍庫の設置について

②ゼロカーボンシティの実現に向けての本町の取り組みについて

**答弁①
(教育長)**

本町では、文部科学省及び岐阜県教育委員会のガイドラインを基本に、町独自の取組みとして、水筒の持参や日傘、ネッククーラー、冷却タオルの使用、通気性の良い服装の推奨を始め、下校中の水分補給、塩分タブレットの配布等、様々な指導、対策を行っています。

登下校における熱中症対策については、冷凍庫の設置も含め、どのような対策が望ましいか学校とも協議し、引き続き前向きに取り組んでまいります。

**答弁②
(民生部長)**

ゼロカーボンシティの実現に向けては、情報提供や取組み内容等協議を重ねた結果、株式会社バイウィル並びに株式会社大垣共立銀行と町との3者で9月29日に「ゼロカーボンシティの実現に向けた連携協定」を締結する運びとなりました。本町では令和3年12月にゼロカーボンシティ宣言をしており、その取組みの1つとして、太陽光・蓄電池等の補助事業を実施、また、令和7年度よりV2H(※1)の補助も開始したところです。

今後も引き続き、町民・事業者・行政が一体となり、町全体で温室効果ガスの排出削減を目指し、持続可能な社会の実現に向けて努めてまいります。

※1 EV(電気自動車)用の充電システムのことで、EV(電気自動車)に蓄電した電力を自宅においても活用できるシステム。家庭用の電気自動車等への充電、また、反対に電気自動車から住宅等へ給電ができる。



長沼 健治郎 議員

質問1**ペットと災害について (一括質問一括答弁)**

犬や猫などの飼育数は国における15歳未満の人口を上回りペットが家庭に居る状況は当たり前になり、その状況のなか災害現場などでペット同伴による避難所入所が問題化している現状を踏まえ、生きとし生けるもの全ての命の尊厳を考え当町における避難所運営マニュアルに避難ペットの扱いを明記したらどうかお伺いいたします。

答弁 (危機管理監)

「大野町避難所開設・運営マニュアル」では、「避難所では、様々な用途に応じたスペースの確保が必要である。」としています。環境省の「人とペットの災害対策ガイドライン」を参考に、町指定避難所においては「同行避難」を前提として、他の避難者の理解を得られる運用方法を検討しなければならないと考えている中で、あるふれあいセンターの防災部会では、町の防災担当も加わり、指定避難所毎のマニュアルの策定や避難スペースのレイアウトの作成の検討を始めました。

今後は必要に応じてマニュアルの改訂を行い、地域防災力の向上に努めてまいります。

再質問

Q 動物愛護団体、獣医師との連携による避難所運営マニュアルの作成について伺います。

A ペットの特性を知っている動物愛護団体、獣医師等専門家の意見を伺いながら、地域の実情にあった「避難所開設・運営マニュアル」の改訂に取り組んでまいります。

質問 2

黒野駅レールパーク以南の名鉄廃線敷きの活用について (一括質問一括答弁)

県道池田揖斐川大野線が整備され、それに伴う通学路も確定する中、大野郵便局東側一帯の地区は土地改良未整備地区ですので、廃線敷きを道路として再整備し併せて土地区画整理事業に伴う再開発を行えば、土地の価格も上がり一帯が持続可能な住みよい利便性の高い地区になると思います。町としてのご見解をお伺いいたします。

答弁 (建設部長)

大野郵便局東側一帯の地区については、日常の利便性や緊急車両の通行等の防災面で、課題が残っており、土地区画整理事業による整備は、防災性の向上や利便性の向上と合わせ、土地の価値向上に繋がるなど、安全安心なまちづくりの実現において有効であると認識しております。

町としても、良好な住環境を整備する手法の一つとして、名鉄廃線敷の活用も含めて、具体的に検討してまいります。

再質問

Q 持続可能なまちづくり推進のため、この機を逃さず廃線敷きの道路活用だけにならないように万全を尽くすのか伺います。

A 同地域のような既存の住居が建ち並ぶ地域において、町が考えている土地区画整理事業による整備手法は、宅地等の区画を整形し、道路や公園など公共施設を一体的に整備することにより、市街地等の基盤を総合的に改善する手法であります。

また、町では、町全体での立地適正化計画の策定に向け取り組んでいるところです。

同地域を含め、都市計画マスタープラン等との整合を図りながら、立地適正化計画の実行性を確保するとともに、地域のまちづくりには、町民や事業者の皆様の理解と協力が不可欠であることから、意見交換や情報発信の機会を設け、合意形成を進めてまいります。

議会のうごき【議会議員が出席した主な行事等】

7月

1・2日	令和7年度揖斐郡町村会・町村議会議長会合同県外視察研修	野村議長
10日	令和7年度東海環状自動車道西回りルート建設促進大会及び建設事業説明会	野村議長
	揖斐郡三町議会議員研修会及び懇談会	全議員
11日	道の駅「パレットピアおおの」開駅7周年記念セレモニー	野村議長
	令和7年度主要地方道岐阜関ヶ原線道路建設促進期成同盟会定期総会	野村議長

18 日	令和 7 年度大野町小学校児童国内派遣事業壮行会	野村議長
22 日	令和 7 年度おおの創生総合戦略検討委員会	野村議長
22～25 日	決算審査	久保田監査委員
23 日	令和 7 年度大垣・神戸・大野線道路整備促進期成同盟会総会	野村議長
	令和 7 年度主要地方道岐阜県南大野線整備促進期成同盟会総会	野村議長・宇佐美民建委員長
	令和 7 年度本巣・瑞穂・大野・神戸・東海環状自動車道建設促進協議会総会	野村議長
	例月検査	久保田監査委員
28 日	令和 7 年度大野町小学校児童国内派遣事業報告会	野村議長
29 日	令和 7 年度合同総会（東海環状自動車道建設促進岐阜県西部協議会／国道 21 号・22 号及び岐阜南部横断ハイウェイ整備促進期成同盟会）	野村議長

8 月

6 日	西濃用水協議会総会	野村議長
	大野町民生委員推薦会	宇佐美民建委員長
9 日	第 61 回夏まつり大野おどり	野村議長・井上議員・長沼議員・国枝議員・ひろせ議員・山川議員・宇佐美議員・久保田議員
20 日	例月検査	久保田監査委員
	財務監査	久保田監査委員
	監査委員協議会	久保田監査委員
21 日	財務監査	久保田監査委員
22 日	令和 7 年第 3 回揖斐広域連合議会臨時会	野村議員・宇野議員・ひろせ議員・宇佐美議員
23 日	東海環状自動車道本巣 I C～大野神戸 I C 開通記念イベント	野村議長
26 日	第 2 回岐阜県町村議会議長会臨時総会・評議員会及び懇親会	野村議長
	議会運営委員会	宇野委員長・ひろせ副委員長・井上委員・宇佐美委員・野村議長
30 日	令和 7 年度東海環状自動車道（本巣 I C～大野神戸 I C 間）開通式典	全議員

9 月

2 日	第 3 回定例会（開会）	全議員
	全員協議会	全議員
	議会運営委員会	宇野委員長・ひろせ副委員長・井上委員・宇佐美委員・野村議長
3 日	総務文教常任委員会	全議員
4 日	民生建設常任委員会	全議員
7 日	第 20 回ぎふ自衛隊音楽まつり	野村議長
9 日	第 3 回定例会（一般質問）	全議員
10 日	第 3 回定例会（閉会）	全議員
	公立認定こども園視察	全議員
15 日	令和 7 年度大野町敬老会	全議員
18 日	令和 7 年度大野町戦没者追悼式	野村議長
19 日	令和 7 年度大野町表彰審査委員会	野村議長
	議会広報編集委員会	宇野委員長・ひろせ副委員長・宇佐美委員・久保田委員
24 日	例月検査	久保田監査委員
29 日	財務監査	久保田監査委員

略 総文＝総務文教常任委員会 民建＝民生建設常任委員会